

## トップメッセージ

# 自然の恵みを大切に、安全・安心な商品やサービスの提供を通じて社会に貢献します。

宝酒造の主たる商品であるお酒は、水や穀物などの自然の恵みをもとに、微生物の発酵という自然の働きを得て造りだされます。このため、生物が生き生きと育まれる豊かな自然環境が保たれることは、当社が事業活動を行ううえで重要な要素であると考えています。また、商品が消費されたあとに発生する空容器が、社会に大きな環境負荷を与えていることも重要な事実として捉えています。そのような理由から当社は、「自然保護」と「空容器問題」への取り組みを環境活動の2本柱と位置付けています。

当社の「自然保護」への取り組みは、1979(昭和54)年のサケを川に戻す市民運動を支援したカムバック・サーモンキャンペーンに始まり、企業の自然保護活動支援の先駆けとなりました。1985(昭和60)年には公益信託タカラ・ハーモニストファンドを設立し、30余年にわたり継続的に自然保護活動・研究の支援を行っています。また、2004(平成16)年より開催している宝酒造「田んぼの学校」は、次世代を担う子どもたちに、自然の恵みの大切さや命のつながりを学んでもらう環境教育活動として取り組んでいます。

一方、当社が事業を展開するうえで避けて通れない「空容器問題」については、一般的なリデュース、リユース、リサイクルの3Rに、発生そのものを回避するリフューズを加えた4Rの考え方を取り入れています。この考え方の

もと、容器の軽量化や、従来からの一升びんのリユースシステムの利用、リサイクルしやすい容器の採用といった取り組みに加えて、中身だけをご購入いただく焼酎のはかり売りを展開するなど、環境配慮型商品の開発にも積極的に取り組んでいます。

この緑字企業報告書は、環境に関する取り組みに加え、「お客様」の視点からの安全・安心な品質への取り組み、「社会」の視点からの社会貢献活動、「社員」の視点からの労働環境整備の取り組みなど、さまざまなステークホルダーの「いきいき」を実現するための当社の取り組みをご紹介したCSR報告書です。また、特集ページでは、宝酒造の社会貢献活動として、「田んぼの学校」と「エコの学校」という2つの環境教育活動の取り組みについて、詳しくご紹介しています。

当社は、自然の恵みを大切に、技術に裏付けられた安全・安心な商品やサービスをお届けし、人々の暮らしを豊かなものにしていくことで社会に貢献してまいりたいと考えています。

この報告書によって、当社の考え方と活動をご理解いただき、ご意見を承ることができれば幸いです。

宝酒造株式会社  
取締役社長

市不敏男



#### 企業理念

---

自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて  
人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します。

#### 行動規準

---

##### 消費者のいきいきは、私のいきいき

—すべての行動は消費者の視点からスタートします—

1. パートナーと協力し、自ら率先して仕事の質を高めます。
2. いつも「なぜ?」と問いかけ、変革をすすめます。
3. 自信と誇りにあふれるプロをめざし、スキルアップに努めます。
4. ユニークな発想で、摩擦を恐れず議論します。
5. 情報感度を磨き、目標に向かって迅速にチャレンジします。
6. 自己の言動に責任をもち、法・社会倫理を守り、自然との共生に取り組みます。